

2025年度(令和7年度)学校評価自己評価表

城西中学校区	校番 23	福山市立城西中学校
最終更新日		2025年(令和7年)4月10日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン 各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容

○各校とも児童生徒が意欲的に授業や行事に取り組んでいる様子が見られ、一定の成果が出ている
○各校が、地域の施設に出向いたり、地域の方々を招いたり、地域とのかかわりを重視した学習活動に工夫して取り組んでいる

●学校間、地域が連携を深め、より多くの子どもたちが地元で中学校で過ごせるように魅力づくりを進めたい

児童生徒の現状

○「子ども主体の学び」を目指し、小・中学校が連携して研究・実践を行い、授業改善を進めており、児童生徒の授業に対する意欲、積極性は高まっている
○行事等を通して、小・中学校とも集団づくり、児童生徒の主体的な活動に取り組んでおり、意欲的に頑張る児童生徒は増えている
●すべての学習の基盤となる「ことば」にこだわり、伝えたり、読み取ったりする力を育ていきたい
●引き続き、不登校児童生徒への丁寧な取組が必要である

育成する力
資質・能力

めざす子ども像
(義務教育修了時の姿)

中学校区として
統一した取組等

コミュニケーション力・表現力・忍耐力

地域に愛着と誇りをもち、心豊かにたくましく生きる子ども

□自己肯定感を高める(児童会・生徒会の合同活動・中学校オープンスクール)
□コミュニケーション力・表現力・忍耐力をつける(幼保小中連携教育・合同授業研究)
□健康への意識を高め、体力向上を図る
(体力向上の取組・体力テストの分析・生活改善の取組・校区保健だよりの発行)

III 自 校

ミッション

「元気」と「笑顔」があふれる学び舎 ～ 地域から信頼を受ける学校づくり ～

学校教育目標

心豊かに、たくましく社会を生き抜く力の育成

現 状

生徒、及び、職員を対象とするアンケートでは、以下の状況である

[生徒] (%)

項 目	2023年度	2024年度
所属している学級は温かい雰囲気がある	82.3	87.0
困ったときに相談できる相手がいる	89.3	94.5
困ったときに「自力解決」ができるよう努力することができる	87.1	90.1
学校生活は楽しい	90.5	89.6

[職員] (%)

困ったときに相談できる人がいる	94.1	100.0
自分の挑戦に対して協働してくれる仲間がいる	76.5	100.0
本音を気兼ねなく発言でき、自分の個性が認められている	76.5	92.3

この項目は、生徒、及び、職員の「学校満足度」の向上につながる内容であるとともに、ミッションを果たしていく重要な要素だと考え、引き続き、指標として焦点を当てていく
教育活動を丁寧に進め、生徒、及び、職員の「元気」と「笑顔」を育み、積極的な情報発信を通して、地元の子どものための80%以上の入学を目指す
2024年(令和6年度) 68.2%(73/107) 2025年(令和7年度) 76.2%(77/101)

育成する力
資質・能力

めざす子ども像

全学年

□コミュニケーション力・表現力・忍耐力

□自己指導能力を育む生徒
～「自分のために、みんなのために」と考え、行動する生徒～
○自分を理解し、お互いを認め合い、高め合う
○自ら疑問や課題を見つけ、解決に向け、自分や仲間と考え、学び続ける
○自分たちの生活をよりよくするために、仲間と協力し、粘り強く取り組む

研究

テーマ

内容等

めざす授業の姿

主体的な学びをめざした授業づくり～問題解決的な授業を通して～
「問題解決的な学習展開と結び付けた総括的な評価問題」の作成と分析

・学習活動が主体的・自律的である
・明確な課題意識をともなった活動である
・目標達成、及び、課題解決への営みが持続されている活動である
・目標達成、及び、課題解決に役立つ情報に敏感になっている
・目標達成、及び、課題解決に見通しを持って取り組み、期待が持てる活動である
・活動の経過とともに、はっきりと成果物などの変化がある

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立城西中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
6	主体的・対話的 で深い学びによ る学習意欲と学 力の向上	★	継 続	自身の伸びを 実感できる生 徒の育成	○学習相談 を充実させ る ○「問題解 決的な学 習展開と 結び付け た総括的 な評価問 題」を作 成・分析し て、授業改 善を進め る	■自身の伸び に係る質問 に肯定的な 回答をする 生徒の割合 を前年度以 上にする ■学力を伸ば した生徒の 割合を前年 度以上にす る ■学力調査正 答率40%未 満の生徒の 割合を前年 度以下にす る									
6	自己指導能力 の育成	★	継 続	誰もが安心し て生活できる 学年・学級集 団の確立	○活動を通 じて生徒 どうしを つなぐ取 組を充実 させる ○生徒との 会話を積 極的に進 め、生徒 理解を図 る。また、 面談ウィ ークを学 期に1回 実施する ○事実確認 等の初動 を重視し、 指導体制 を機能さ せる。保 護者、地 域、関係 機関等と の連携を 強化する	■生徒指導上 の諸問題の 出現率を前 年度以下に する ■新規の長期 欠席者(不 登校)を0名 にする ■相談室経営 方針を共有 する ■「所属してい る学級は温 かい雰囲気 がある」「困 ったときに相 談できる相 手がいる」 「困ったとき に自力解決 ができるよう 努力すること ができる」 「学校生活 は楽しい」に ついて95% 以上にす る									

2	職員の「元気」と「笑顔」	継続	授業づくりへ向かう時間の確保と互いのよさを生かした授業力の向上	○学年会等で、生徒の学びの姿を具体的に挙げ、授業づくりの方向性を共有して教材研究を進める ○業務改善に取り組み、勤務時間外在校時間について自己管理を進める	■「困ったときに相談できる人」がいる」「自分の挑戦に対して協働してくれる仲間がいる」「本音を気兼ねなく発言でき、自分の個性が認められている」について95%以上にする ■仕事や生活の満足度を高める									
---	--------------	----	---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。